

お客様訪問
環境優良車
CNG導入



自動車部品輸送からスタートし、多角的に事業を展開する萬運輸株式会社。同社の経営理念は、物流事業を通じ、地域社会に尊敬される企業を目指すというものです。徹底した環境保全、社会貢献の姿勢がCNG車の導入につながっています。現在、横浜市内を中心に、食品輸送、市の公共事業にフル活用しています。

お話を
くださった方

神奈川県横浜市 萬運輸株式会社
取締役 龜山清雄氏

洗練されたデザインで注目を浴びる
環境と地域に貢献するCNGトラック

安全・安心、環境保全、社会貢献に
積極的に取り組み続ける企業

昭和34年に、萬運輸株式会社の前身、東海林商店が創業され、その2年後に、萬運輸株式会社として設立された、今年で56年目を迎える歴史ある企業です。

自動車部品輸送業から事業をスタート。スタートと同時期にお菓子、アイスクリームなどの食品輸送も手がけ、現在は、整備事業、販売事業、倉庫事業などまで、幅広く事業を展開しています。

「公道を使って対価をいただいている企業として、社会に奉仕しなければならない」という、創業者の想いを東海林憲彦社長が今に引き継ぎ、同社は、安全・安心、環境保全、社会貢献を大きく掲げ、積極的に取り組んでいます。また、日本の法人企業全体の約1%しか認定されないという優良申告法人にも認定されています。

食品輸送や公共事業に
CNG車が最適な理由

本社に入ると、目に飛び込んでくるのが太陽光発電量の表示パネル。同社では、地球環境保全活動の一環として、クリーンな太陽光発電システムを本社と小山営業所に導入しています。同社の視線の先には、つねに「環境保全」「社会貢献」があるのだということがうかがえます。

CNG車が普及する以前から、低公害車であるメタノール

- 会社DATA
- 設立：昭和37年9月
 - 資本金：9,900万円
 - 従業員数：211名
 - 事業内容：貨物自動車運送業、自動車運送取扱事業、石油及び石油製品の販売、倉庫業、自転車運送運行業など
 - 拠点：本社（神奈川県横浜市）、4営業所（横浜、小山、郡殿、庄内）、2事業所（仙台、中部）、3整備工場（横浜、小山）
 - 保有車両：144台（うちCNG車3台、ハイブリッド車7台）

自動車を導入し、横浜市の公共事業の受託をきっかけに、平成10年、CNG車を導入。現在、同社のCNG車は、横浜市の公共事業から食品輸送までフル稼働しています。「人の多い駅前や繁華街、深夜の住宅街への搬送などには、騒音も振動も少なく、環境に配慮できるCNG車が最適です。CNG車のデメリットとして挙げられる、航続距離や充填所が少ないという点をクリアするルートを選んで、運行しています」（亀山取締役）。

「弊社は、ISO14001認証（環境マネジメントに関する国際規格）を取得していることから、東海林社長は、CNG車をさらに増車するべきだと考え、現在、来季の導入計画を立てるところです。環境面だけでなく、ディーゼル車とランニングコストを比較しても、CNG車はメリットが大きいですね」（亀山取締役）。

環境に配慮したデザイントラック®で
CNG車や環境保全をPRできれば

同社は、食品輸送と横浜市の公共事業に使う車両は、環境のためにも、地域のためにも、全車CNG車にしたいという構想を持っていますが、そこに、ついてくるのが、インフラ整備の問題です。「もう、うちで充填所を立ててしまおうかという話にもなったのですが、予想をはるかに超えたお金がかかることがわかり、夢は即座に砕かれましたね（笑）。社長の言葉を借りれば、『航続距離を考え、充填所の場所を配送ルート内にうまく組み込むことができれば、適合する配送ルートはさらに増えるはずだ』と。私もそう考えています」（亀山取締役）。

地方にも営業所があり、長距離輸送も行う同社では、高速道路を走る大型車にCNG車導入の可能性を探っています。「2日で約1000kmを走っていますし、ほぼ同じルートの

同社の経営理念の象徴である“3S”マークは「安全と品質（Safety and quality）」「最高のサービス（Service）」「社会的ステータス（Status）」という3つの約束と「サステナブル（持続可能な）」のSを表現

高速道路を使っていますので、ここにCNG車を導入できれば最高ですね。今後は、ぜひガス会社さんと一緒に検討していきたいと思っています。また、改造費や購入費などに、もう少し助成金を出していただければ、多少、充填所が少なくても、配送ルートを工夫しながら、導入を検討する企業も増えるのではないのでしょうか（亀山取締役）。

同社は、特殊な技術を用いたボディプリントを施したデザイントラック®で、企業理念実現のための取り組みを行っています。車体に直接プリントできることから、低価格であり、さらにステッカーを貼り替える際に出る大量の廃棄物も削減できるという環境面にも配慮した取り組みです。美しくプリントされた個性あふれる同社のトラックは、街中で注目を浴び、ドライバーの意識、責任感の向上を促します。ひいては、それが安全、品質の追求へとつながっていくというわけです。

「デザイントラック®で、CNG車を取り巻く関係団体のPRを大々的に行えば、もっとCNG車や環境保全に興味を持ってくれる方が増えるのではないかと考えています」。

近い将来、CNG車のPRをする美しいデザイントラック®が、風を切って走る日が来るかもしれません。



洗練されたデザインのCNG車が横浜市内を走る。社会を豊かにする新しい取り組み、デザイントラック®。大型インクジェットプリンターで、ボディに直接プリントし、広告・宣伝、美観効果をわらう

YOR/JOZU
萬運輸株式会社

萬運輸本社にて、
亀山取締役（後列中央）と
スタッフのみさん



左記「お客様訪問」では、全国のお客様の現場でお話を伺っています。

【聞き手】一般財団法人環境優良車普及機構 事業部調査役 石橋 孝 04